

第143回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 令和4年3月17日（木）午後4時から
2. 開催場所 ホテル ベラヴィータ
3. 出席の委員 委員総数 12名
出席委員数 7名
出席委員の氏名
高山 正 ・ 湯本 博 ・ 本多由紀 ・ 坂庭 直治
星 勝美 ・ 傳田直史 ・ 石原久美

欠席委員（5名）の氏名
倉田富夫 ・ 入澤安彦 ・ 須田章夫
清 水 さゆり ・ 石井陽子

「出席」沼田青年会議所理事長 為野大地
「欠席」沼田青年会議所理事長 星野昌幸

放送事業者側出席者名
本山 佳宏 ・ 津久井功 ・ 千明 公男
宇佐見 真弓 ・ 扇乃 美由紀 ・ 木内恵子

挨拶

○沼田エフエム放送（株）代表取締役社長 本山 佳宏

年度末を迎え、何かとお忙しい中をご出席いただきありがとうございます。

コロナ禍において書面による審議会等、ご迷惑をお掛けいたしました。2年の任期を再任され4年お務めいただきました委員の方々は最終の放送番組審議会となります。永年のご尽力に心から感謝と御礼を申し上げます。特に高山委員長には見事な進行手腕で活発な審議会にさせていただいたことに重ねて御礼を申し上げます。ウクライナ情勢は日々変化しており、そうした中で罪のない子供等が悲惨な状況下であり1日も早い平和を願っております。

○沼田エフエム放送（株）放送番組審議委員長 高山 正様

4年間、たいへんお世話になりました。新型コロナウイルスの関係で開催日程の変更や書面審議会に変更するなどご迷惑をお掛け残念に思うところもあります。任期は3月31日までとなっておりますが、審議会は本日が最後となります。是非、積極的なご意見を賜りたく思います。よろしくお願い致します。

4. 議 事

(1) 放送報告

・新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置の期間の換気促進放送

(各ワイド番組にて随時放送)

アナウンス 千明絢香

・第20回ハートウォーミング大賞 大賞 週間利根社 社主 大平幸助様

令和4年2月1日(火)午後6時30分放送Happy Evening内「Happy café」

聞き手 千明絢香

地域限定の「週間利根」を昭和26年に創刊。親子2代にわたり70年、真摯に利根沼田の政治・経済・文化に目を向け、情熱と郷土愛で地域発展に尽力され、利根沼田の出来事・課題などを読者に投げかけている。

●主な意見

- ・大賞に相応しい方を選んだと思います。
- ・地域の発展に尽力された方々に贈る賞として敬意を表します。
- ・受賞された方々について自分のように嬉しく感じています。
- ・FM OZEは素晴らしい企画をしていると思います。

*FM OZEハートウォーミング大賞は利根沼田において、地域活動、文化芸能活動、スポーツ、教育の各分野を通して、地域の発展に貢献された団体及び個人の方々の功績を称え、表彰させていただくものです。

・試聴CD

・令和4年FM OZE新春を祝う集い「ラジオ賀詞交歓会」

令和4年1月18日(火)午後1時～午後2時30分放送

利根沼田の皆さんをお招きして毎年開催している「新春の集い」は、コロナ禍のため残念ながら中止となり、今年も「ラジオ賀詞交歓会」を放送しました。

FM OZE番組審議委員長 高山 正様

●主な意見

- ・放送番組審議委員の存在やあり方、重要性と共にFM OZEを側面から応援しているコメントに感謝しています。

・令和3年度 輝award受賞者 昭和イーグルス監督 堤 輝人様

令和4年2月3日(木)午後6時30分放送

聞き手 木内恵子

昭和イーグルス監督歴9年 全国大会初出場

少年野球昭和イーグルスの監督を永年務め、野球の指導と共に生活指導を行い、健全育

成に貢献している。今年度は少年野球県大会でチームを優勝に導き、全国大会への出場を果たした。

●主な意見

・学校でのクラブ活動の共生化についてその有無が取り沙汰されている中、頑張っている子供たちが受賞されたことは素晴らしいと思います。それを指導されている監督にあげられたことは、まさにハートウォーミングであり輝awardだと思います。分かりやすい放送でした。

・令和3年度輝award junior受賞 昭和イーグルス より

鶴淵 優月選手 金井 大知選手 県大会優勝 全国大会出場大会出場

コロナ禍で制限された環境の中、工夫した練習と努力を重ねみごと群馬県大会で優勝し、8月に開催された第41回全日本学童軟式野球大会に初出場を果たした。県代表として、「一戦必勝」で最後の一球まであきらめずに全力プレーした姿は少年野球チームの目標とされる。

●主な意見

・インタビューの中で女の子への質問の中に性別に関わることに触れないことは、良く配慮されたと思います。

・令和3年度 輝award 特別賞 内田伸子様 心理学者 文化功労者

令和4年2月11日(金)午後6時30分放送 聞き手 藪原幸子

沼田女子高等学校を経てお茶の水大学へ進学。同大学院を修了した後、言語発達や認知発達の研究に積極的に取り組まれた。その多彩な活躍を続けた事が評価され、2021年度の文化功労者に選ばれたことは、利根沼田の誇りである。

*「FM OZE輝きaward」は、利根沼田において1月から12月までの間で、誰もが認める活躍をされ、地域振興、地域ブランドを高めることに輝いた方に贈られる賞です。

●主な意見

- ・事前の調査をもう少ししっかりしてほしい。笑ってごまかすような部分があり不愉快と思うと同時に失礼だと感じました。(同意見あり)
- ・時間が短く、もう少し掘り下げて経験談を聞いたかった。
- ・リスナーは内田さんの研究についてもっと知りたかったと思う。
- ・FM OZEで講演会等を企画してほしい。

○審議機関の答申・意見に対しての措置

- ・限られた時間の中でも、リスナーの興味に応え、ゲストについて理解していただけるような放送を目指してまいります。

5. 感謝状贈呈

4年間お努めいただきました審議委員様は令和4年3月31日をもって任期満了となります。ご指導ご協力ありがとうございました。

・退任委員挨拶（審議委員としての感想やFM OZEへのご意見）

退任のコメント

・高山氏

開局から25年を迎えたFM OZEが更に信頼される放送局になるよう願っています。私も歴史の番組にこれからも出演し応援して参ります。

・湯本氏

放送番組審議委員になったことでラジオを聴く習慣となりました。同時に社会情勢に気を配るようになり新聞、テレビの報道を見ています。これからも地域に根ざした放送局としてご活躍ください。

・本多氏

4年間、お世話になりました。毎回、審議会に緊張して出席させていただきました。自分にとりましてとても勉強になりました。

・星氏

4年間のお役目が終了します。とても勉強になりました。これからも地域コミュニティ放送の役割を果たしてください。

【 審議会でのご意見、退任される方々からのコメントに対しての会社側の対応】

毎回、貴重なご意見を賜りありがとうございます。心より感謝と御礼を申し上げます。弊社は開局以来「言葉は思った以上の影響力がある」と職員に伝え、その重さや対策を指導しています。慣れから生まれる言葉や笑いから大きな問題に発展することもあると感じました。これからも真摯に放送に向かい、信頼される放送局となるよう努力研鑽を重ねて参ります。

7. 次回開催日について（基本 偶数月 第3木曜日）

日 時 令和4年4月28日（木）16：00
（4月は沼田市長選期間中のため変更）

会 場 ホテル ベラヴィータ

8・閉 会